

上益城地域 通所支援事業所の紹介 (R7年3月現在)

【児童発達支援版】

発行元：上益城地域療育ネットワーク会議

町	通所支援事業所名	児童発達支援		放課後等 デイサービス	
		親子	児のみ	親子	児のみ
御船町	児童発達支援センター わいわいなかま	○	○	○	○
	子ども発達支援 モーツァルト				○
	児童発達支援多機能型事業所 エルサ		○		○
	放課後等デイサービス エルサ 木倉教室				○
	障害児通所支援事業所 あすでい 御船		○		○
	児童発達支援・放課後等デイサービス なかにわ		○		○
嘉島町	ひだまり				○
	子ども支援室みらい 嘉島教室		○		○
	コンサート				○
	Switch 嘉島 With T-STEP	○	○		
	カルテット				○
益城町	ぴあすまいる				○
	きっずぴあ				○
	キッズキングダム				○
	子ども支援室みらい 益城教室		○		○
	障害児通所支援事業所 あすでい		○		○
	児童発達支援 わいわいなかま 益城教室	○	○	○	○
甲佐町	放課後等デイサービス えんぱわー				○
	放課後等デイサービス エルサ 甲佐教室				○
山都町	児童発達支援多機能型事業所 エルサ 山都教室		○		○



★【療育】とは…

一人一人のお子さんのことを十分に理解し、発達や理解に合わせて、お子さんが日常生活を送りやすくするための方法を、専門性を持ってご家族と一緒に考え取り組んでいくことです。将来的には、お子さんが自分のことを知り、療育で学んだことを活かして、自立と社会参加の力になるよう必要な支援を提供していきます。

障害者手帳の有無に関わらず、専門職が「療育が必要」と判断した場合に利用できます。

★児童発達支援・放課後等デイサービスってどんなところ？

児童発達支援（略:児発）

対象者：小学校就学前までのお子さん

どんなことをするの：ほとんどのお子さんが保育園等に就園しながら事業所を利用され、お子さんやその保護者に対して日常生活における生活スキル、コミュニケーション力、感情コントロールなどの支援(家庭での取り組みの提案等)、集団生活で過ごしやすいするための支援などを行います。

放課後等デイサービス（略:放デイ）

対象者：小学生から高校生までの就学しているお子さん

どんなことをするの：事業所では放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活スキル、社会性スキル、自分の得意不得意を知るなどの支援を継続的に提供することにより、お子さんの自立を促進するための支援を行います。家庭での取り組みの提案や、関係機関と連携をはかります。

保育所等訪問支援

対象者：集団生活を営む施設に通うお子さん

どんなことをするの：本人及び保護者が希望することで、保育園、幼稚園、小学校その他の集団生活を営む場所において、集団生活の適応のための専門的な支援を必要とする場合に利用します。お子さんが所属する場所を訪問して、特性に応じた集団生活の環境調整等、お子さん本人と訪問先機関職員に対して支援を行うものです。

※ 利用できる日数や、利用できる条件は自治体によって異なります。詳しくはお住まいの自治体にお尋ねください。

児童発達支援事業

事業所名 児童発達支援センターわいわいなかま



基本情報

住所	熊本県上益城郡御船町高木 4494-46
電話番号	096-282-4180
FAX 番号	096-282-4180
ホームページ	https://dekoboko

職種別従業者

管理者(職種)	栗原 秀子(保健師・養護教諭)
児童発達支援管理責任者(資格)	栗原 秀子(保健師・養護教諭)
保育所等訪問支援員(資格)	江口 真美子(保育士)

職員有資格 (■常勤 □非常勤)

☒ 保育士 ☒ 児童指導員 ☒ 医師 ☐ 看護師
☐ 心理士 ☐ 理学療法士 ☒ 作業療法士
☐ 言語聴覚士 ☐ 社会福祉士 ☐ 精神保健福祉士
☒ 教員免許 ☒ 幼稚園教諭
☐ その他 (言葉の専門家)

運営形態

家族同伴	月曜日～金曜日
単独 (利用児のみ)	木 (年中)、金 (年長)
保育所等訪問支援事業	あり

サービス内容

送迎の実施	児童発達支援 ☒ 有 ☐ 無
	放課後等デイサービス ☒ 有 ☐ 無
	備考:
利用定員	10 名/日
利用時間	児発 単独 10 時～11 時 親子 10 時～12 時
	放デイ(平日) 12: 00～17: 00
	放デイ(土曜) 9: 00～16: 00
	放デイ(長期休暇) 10: 00～16: 00
定休日	日祝日・お盆・年末年始

活動内容～1 日の流れ～

【午前の部】

内容

10:00 登園 荷物片付け スケジュール確認 自由遊び

・運動遊びの経験、お友達とやりとりの経験

10:15 お集まり

・見る力、発信する力を育む

活動 1 机上課題

[見る力]…シール貼り・折り紙・粘土・塗り絵

[道具を使う]…スプーン・箸・ハサミの課題

[見る・聞く]…変身ゲーム・音当てゲーム

・手元を見る力、モデルを見る力、工程理解の力を育む

・困った時に発信する力を育む

・指示を聞いて行動する

・道具操作の向上(手の巧緻性)

活動 2 運動あそび

サーキット・リズム

砂・泥山遊び・散歩

・運動課題を通して成功体験を積む

・つまずき難い体をつくる

・ボディーイメージの向上

・遊び込む

11:00 (単独療育 降園)

11:15 お弁当/食事

・スプーンの握り方から箸への移行

・偏食への対応

12:00 降園

【午後の部】

13:15 登園 荷物片付け スケジュール確認 自由遊び

13:45 お集まり

活動 1 机上課題

活動 2 運動あそび

15:00 降園



Q & A 児童発達支援

Q1:利用している子どもが取り組む活動の目的を具体的に教えてください

- ①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション
⑤人間関係・社会性

①健康・生活

- ・生活リズムの確立
- ・メディアの使用について
- ・食事…正しい道具（スプーン、箸）の持ち方、偏食への助言
- ・着脱…服の脱ぎ方、着方、たたみ方の習得
- ・トイレトレーニング
- ・保清…歯磨き、体洗い、洗髪、体拭き

②運動・感覚

- ・運動課題を通して成功体験を積む
- ・重力に負けないからだづくり（体幹を鍛える、踏ん張る力、支える力）
- ・2つ以上の部位と一緒に動かす運動の促進（目と手、目と足、手と足）
- ・苦手な感覚を理解し防ぐことと、活かすこと

③認知・行動

- ・見る力、モデルを見る力、工程理解からの成功体験
- ・見通しを持って活動する力、識別する力、模倣する力
- ・気持ちの切り替え
- ・感情コントロール
- ・気持ちの持続

④言語・コミュニケーション

- ・言葉の土台を育む（アイコンタクト、共感、指差し、共同注視）
- ・聞いて発信する力
- ・やりとりを育む（「かして」「どうぞ」「もう1回」「下さい」）
- ・語彙数、表現力の向上

⑤人間関係・社会性

- ・保護者との愛着形成を育み安定した生活ができる
- ・譲らない態度も大切
- ・褒める
- ・スケジュールに沿って活動ができる。ルールに沿って活動する。

- ・段階的成長（場の共有、一緒に遊びをする、一緒に物を作る、協力して遊ぶ）

Q2:就学や進学、また事業所の変更の際など何かしら支援をして頂けますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。（移行支援）

- ・就学に向けては「先輩お母さんのお話を聞く会」を開催し、通常クラス・支援クラス・通級・支援学校利用の保護者さんにお話しをして頂き、それぞれの学びの場を知って頂いている。
- ・就学予定の小学校の見学を計画し、地域の学校であれば、1年生クラス、支援クラスの授業の様子を見学し、担当の先生と情報交換の時間を頂いている。支援学校にも見学に行く。
- ・サポートブックの作成。
- ・就学後、希望される方については、担任の先生に情報提供で訪問したり、情報提供書をお渡ししている。

Q3:家族が安心して子育てを行う取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会がありますか？具体的に教えてください。（家族支援）

- ・相談は常に受け付けています。
- ・保護者同伴療育では、記録用紙に当日のプログラムで保護者さんにやって欲しいこととその意味について記載しています。
- ・プログラム開始前の説明と終了後の振り返りを行い、療育内容を家庭でどう活かすかについて、また家庭での接し方について助言をしています。

Q4:利用している子どもが地域で安心して生活できるよう、園や学校からの相談等を受けて頂くことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。

[地域支援]

- ・保護者さんからの相談、園や学校からの相談を受けて、園や学校を訪問し、先生方とお話しした結果を保護者さんにお伝えしています。家庭や園、学校で少しでも過ごしやすい状態になるように支援しています。

例 現在年長男子

年中の時に、園から「園庭で行う体操教室に参加しなくなったのでどうしたらいいですか？」との相談があり、保護者さんに了解を得て訪問をしました。園での子どもさんの様子と先生方の対応を見させて頂き情報共有とアドバイスをさせて頂きました。文字を読める子どもさんで、声かけより文字での指示が有効な場面もありました。ですが、

- ・文字での指示が細かいので、言葉での指示も入れて欲しいこと
- ・体操教室については、「したくない時はしなくていいよ。ベランダで椅子に座っていてね」と伝えて欲しいこと（選択できることで安心感が生まれる為）。

- ・朝から、一日のスケジュールと取るべき行動、やりたくない時に取るべき行動を伝える。
- ・予告しすぎることも不安につながることを知って頂く

以上のようなアドバイスをして様子を見てきました。先生方は、アドバイスを取り入れて下さって、年長になって少し不安定になることもありましたが、電話でのやりとりで支援の方向性を確認し、ご本人は落ち着いた生活を送られています。

Q5:療育を実施する専門機関として、常にスキルアップしていくことが求められるかと思いますが、令和5年度中に受講された研修名・参加状況を教えてください。

- ・「SSTについて」 ソーシャルワーカー 土屋 徹 氏 全員
- ・ケース検討2回 「3年男子 暴力暴言で表現する子どもの理解と対応について」
6名参加
- ・「新版K式発達検査について」 宮本 佐和子 10名参加
- ・「年中男子の運動評価」 中村 OT 10名参加
- ・「障害者虐待～障害のある人もない人も共に生きる社会のために～」 10名参加
- ・「ASDのコミュニケーション」 TEACCH プログラム研究会主催
- ・「就労について～ハローワーク上益城、熊本障がい者職業センターの取り組み～」 1名
- ・「事例検討会」 熊本県発達障がい医療センター主催 2名参加

児童発達支援事業

事業所名 児童発達支援多機能型事業所エルサ



基本情報

住所	上益城郡御船町木倉22-4
電話番号	096-202-2002
FAX 番号	096-202-2002
ホームページ	https://www.kitchenbless.jp

職種別従業者

管理者(職種)	高宮佐久美(教員免許)
児童発達支援管理責任者(資格)	高宮佐久美(教員免許)
保育所等訪問支援員(資格)	本山佳奈(保育士)

職員有資格 (■常勤 □非常勤)

■保育士 ■児童指導員 □医師 □看護師
 ■心理士 □理学療法士 □作業療法士
 □言語聴覚士 □社会福祉士 □精神保健福祉士
 ■教員免許 □幼稚園教諭
 □その他 ()

運営形態

家族同伴	
単独 (利用児のみ)	利用児のみ
保育所等訪問支援事業	実施

サービス内容

送迎の実施	児童発達支援 (有) / 無
	放課後等デイサービス (有) / 無
	備考:
利用定員	10名/日
利用時間	児発 10:00~13:00
	放デイ(平日) 14:00~17:30
	放デイ(土曜) 10:00~17:30
	放デイ(長期休暇) 10:00~17:30
定休日	日曜日

活動内容～1日の流れ～

時間	内容
10:00	来所・荷物片づけ バイタルチェック 「先生とお勉強」 「プレイ」エリアでの遊び、 「本読み」、「制作」、「DVD」 などスケジュールに従った活動
	午前のグループ活動
11:45	手洗い 昼食 歯磨き
	午後のグループ活動
13:00	終了

活動場所や内容を明確にし、一人一人に写真カードでのスケジュール提示を行い、見通しを持って活動して頂きます。

活動を通して、スケジュールに従って活動するということを定着させます。

その上で、それぞれの活動の中で楽しみながらニーズに応じた支援を行います。

Q & A 児童発達支援多機能型事業所 エルサ

Q1:利用している子どもが取り組む活動の目的を具体的に教えてください

- ①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション
⑤人間関係・社会性

- ① 構造化等により生活環境を整え、時間や空間を本人にわかりやすく構造化し、見通しを持って活動できるようにしていく。
- ② 遊び等を通して、それぞれに必要な感覚を刺激し、発達を促す。
- ③ 環境から情報を取得して行動につなげ、認知過程の発達につなげる。
- ④ 自分の要求や気持ちを発信できるように支援する。
- ⑤ 遊び等を通して、社会性や対人関係を学ぶ。

Q2:就学や進学、また事業所の変更の際など何かしら支援をして頂けますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。(移行支援)

- ・就学先、進学先、事業所変更の際は他事業所との移行支援会議に参加します。
- ・情報提供を行います。

Q3:家族が安心して子育てを行う取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会がありますか？具体的に教えてください。(家族支援)

- ・ご家族のご要望に合わせてご相談に応じます。

Q4:利用している子どもが地域で安心して生活できるよう、園や学校からの相談等を受けて頂くことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。

[地域支援]

- ・園や学校からのご相談等に対応いたします。
- ・これまでも園や学校と話し合いを行い、同じ方向性で役割を分担して支援を行ってきたケースが多数あります。

Q5:療育を実施する専門機関として、常にスキルアップしていくことが求められるかと思いますが、令和5年度中に受講された研修名・参加状況を教えてください。

- ・令和5年度障がい者虐待防止のためのオープンセミナー(1名)
- ・令和5年熊本県サービス管理者・児童発達支援管理責任者基礎研修(2名)
- ・令和5年熊本県相談支援従事者初任者研修(2名)
- ・令和5年熊本県サービス管理者・児童発達支援管理責任者及び相談支援従事者専門コース別研修【意思決定支援(応用編)】(2名)
- ・令和5年熊本県サービス管理者・児童発達支援管理責任者及び相談支援従事者専門コース別研修【障害児支援】(2名)
- ・MWT協会ビジョントレーニング2級資格認定講座(新規・再受講含め、のべ5名)
- ・MWT協会ビジョントレーニング1級資格認定講座(再受講1名)
- ・MWT協会ビジョントレーニングインストラクター資格認定講座(再受講1名)

<公認心理師受講研修>

- ・日本 K-ABC アセスメント学会 2023 年度日本語版 K - ABC II ベーシック講習会
- ・日本公認心理師協会 2023 年度第 1 回専門研修 I
- ・日本公認心理師協会 福祉分野委員会・児童福祉領域研修会（基礎コース）
- ・日本公認心理師協会 WISC-V 知能検査活用の基礎(検査結果と発達支援実践の橋渡し)
- ・日本公認心理師協会 第 2 回 子どもの発達支援委員会研修
「こども家庭庁の目指すもの～子どもの権利擁護と親支援の視点から～」
- ・第 3 回日本公認心理師学会学術集会静岡大会
「WISC-V 知能検査の“正しい”理解と活用」
「自分を傷つけずにはいられない人の理解と援助」
「ASD 当事者における感覚の特異性について」
「PTMF～医学モデルに依らない心のケアの包括的パラダイム～」
「公認心理師業務に活かす組織心理コンサルテーション」
「協働的/治療的アセスメントー見えない心を可視化するー」
- ・第 3 回日本公認心理師学会学術集会静岡大会
「臨床姿勢としてのメンタライゼーション～多岐にわたる臨床実践に共通する
「こころに関わる」営みとは」
- ・T.O.P.S. 包括システムによるロールシャッハ・テスト〈エクスナー法〉講習会
株式会社ポルトクオーレ
包括システム初級講座@神戸
- ・日本公認心理師協会 高次脳機能障害支援のための神経心理アセスメント研修会
- ・日本 K-ABC アセスメント学会 第 3 回中央事例研究会
「継次処理が高く語彙に課題がある難聴児童への言語指導」
- ・日本公認心理師協会 高次脳機能障害支援のための神経心理アセスメントの実際
- ・日本公認心理師協会 第 2 回 児童福祉領域研修会（基礎コース）
- ・日本カウンセリング学会カウンセリング心理士会
2023 年度「第 4 回相互研究（研修）会
- ・包括システムによる日本ロールシャッハ学会 第 2 回解釈講座
- ・日本公認心理師協会 2023 年度第 4 回専門研修 II
- ・アスペエルデの会 Vineland II 講習

児童発達支援事業



事業所名 障害児通所支援事業所あすでい 御船

基本情報

住所	上益城郡御船町木倉 1125-5
電話番号	096-282-6635
FAX 番号	096-282-6638
ホームページ	https://www.big-advance.site/s/156/1514

職種別従業者

管理者(職種)	須藤 博喜
児童発達支援管理責任者(資格)	須藤 博喜
保育所等訪問支援員(資格)	
職員有資格 (■常勤 □非常勤)	
□保育士 ■児童指導員 □医師 □看護師	
□心理士 □理学療法士 □作業療法士	
□言語聴覚士 □社会福祉士 □精神保健福祉士	
□教員免許 □幼稚園教諭	
□その他 ()	

運営形態

家族同伴	なし
単独 (利用児のみ)	○
保育所等訪問支援事業	なし

サービス内容

送迎の実施	児童発達支援 (有)無
	放課後等デイサービス (有)無
	備考 :
利用定員	10 名/日 (児発・放デイ 通じて 10 名)
利用時間	児発 9 : 30~12 : 00
	放デイ(平日) 14 : 30~17 : 00
	放デイ(長期休暇) 10 : 00~15 : 00
定休日	土、日・お盆・年末年始

活動内容～1日の流れ～

時間	内容
9 : 30	順次来所
9 : 30～	それぞれのスケジュールに従って自立した活動をする (スケジュールの内容・・・プレイ、ワーク、カーン、ブック、タブレット、先生勉強など)
11 : 30～ 12 : 00	帰宅

【具体的支援】

- ① TEACCH の考えに基づいた構造化を利用した自立支援
- ② ソーシャルストーリーやコミック会話の手法を用いた支援
- ③ PECS の考えに基づいた絵カードを用いたコミュニケーション支援

Q & A

Q1:利用している子どもが取り組む活動の目的を具体的に教えてください

- ①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション
⑤人間関係・社会性

下記5領域に関して、本人の特異性を評価しながら、TEACCHの構造化・PECS・ソーシャルストーリー・コミック会話等を利用して、支援を実施している。

① 健康・生活

- ・スケジュール活動を通して、生活のリズムや生活習慣の形成
- ・基本的生活スキルの獲得、食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要なスキルの獲得

② 運動・感覚

- ・視覚優位／感覚の過敏性の特異性を活かした支援

③ 認知・行動

- ・感覚の特異性を活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す

④ 言語・コミュニケーション

- ・受容言語と表出言語の獲得

⑤ 人間性・社会性

- ・自己の理解とコントロール
- ・自分の行動の特徴を理解するとともに、自分の気持ちや情動を知る

Q2:就学や進学、また事業所の変更の際など何かしら支援をして頂けますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。(移行支援)

移行先の保育所・小中高校等への支援と支援体制の構築のため、援助方針や支援内容等の共有、支援方法の伝達のミーティングを実施しています。

Q3:家族が安心して子育てを行う取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会がありますか？具体的に教えてください。(家族支援)

- ・子どもの発達上の課題についての気づきの促しとその後の支援
- ・相談支援専門員との定期的な支援会議や支援計画の調整
- ・子どもに関する情報の提供と定期的な支援調整等

Q4:利用している子どもが地域で安心して生活できるよう、園や学校からの相談等を受けて頂くことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。

[地域支援]

園や学校からの相談等受けています。

これまでの取り組み・・・ASD の特性についての職員研修、学校行事の参加に対しての対策・方法の提供、学校でのクールダウンのための対策・方法の提供

Q5:療育を実施する専門機関として、常にスキルアップしていくことが求められるかと思いますが、令和5年度中に受講された研修名・参加状況を教えてください。

- ・あすでい勉強会 ～構造化～(令和5年4月21日)／職員全員
- ・あすでい勉強会 ～学習スタイル～(令和5年6月16日)／職員全員
- ・あすでい勉強会 ～ASDのコミュニケーション～(令和5年9月15日)／職員全員
- ・あすでい勉強会 ～自閉症スペクトラムの理解と支援～(令和5年11月17日)／職員全員
- ・あすでい勉強会 ～ASDの学習スタイル～(令和6年2月16日)／職員全員

児童発達支援事業

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス なかにわ



基本情報

住所	上益城郡御船町豊秋 2021
電話番号	050-1724-4499
FAX 番号	096-300-3164
ホームページ	https://www.rapland.org/

職種別従業者

管理者(職種)	中村 丈聖
児童発達支援管理責任者 (資格)	中村 丈聖
保育所等訪問支援員 (資格)	
職員有資格 (■常勤 ☑非常勤)	
□保育士 ■児童指導員 □医師 □看護師	
□心理士 □理学療法士 □作業療法士	
□言語聴覚士 □社会福祉士 □精神保健福祉士	
■教員免許 □幼稚園教諭	
□その他 ()	

運営形態

家族同伴	なし
単独 (利用児のみ)	単独 (利用児のみ)
保育所等訪問支援事業	なし

サービス内容

送迎の実施	児童発達支援 有
	放課後等デイサービス 有
	備考:
利用定員	通じて 10 名/日
利用時間	児発 9:00~17:00
	放デイ(平日) 12:00~17:00
	放デイ(土曜)
	放デイ(学校休養日・長期休暇)10:00~17:00
定休日	土日・年末年始

活動内容～1日の流れ～

時間	内容
児発	
9:00	事業所着
9:00~12:00	自由時間 個別サポート
12:00~13:00	昼食
13:00~17:00	集団活動 個別サポート
17:00~	帰宅
放デイ	
10:00	事業所着
10:00~12:00	自由時間 個別サポート
12:00~13:00	昼食
13:00~17:00	自由時間 個別サポート
17:00~	帰宅

- ・コミュニケーショントレーニング
- ・小規模集団活動トレーニング
- ・発話トレーニング
- ・ソーシャルスキルトレーニング
- ・危険認知行動療育
- ・食育
- ・生活トレーニング
- ・料理、工作、数字等
- ・その他個性に合わせたプログラム療育

Q & A

Q1:利用している子どもが取り組む活動の目的を具体的に教えてください

- ①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション
⑤人間関係・社会性

児童一人ひとりに応じた個別の目標を立て、遊びを通じて子どもたちの社会で社会性や自立心を育み、日常生活での生活力や感情などの自己管理ができるようになる。また、周囲の事象への認知や人間関係の適切なコミュニケーションがとれるようになることを目標として支援を行います。

Q2:就学や進学、また事業所の変更の際など何かしら支援をして頂けますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。(移行支援)

学習支援シートやケース会議への積極的な出席、また他事業所への移行についても移行先の事業所に合わせた共有や提案を行います。

Q3:家族が安心して子育てを行う取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会がありますか？具体的に教えてください。(家族支援)

通常の業務以外では、専門的な家族支援は行っておりません。

Q4:利用している子どもが地域で安心して生活できるよう、園や学校からの相談等を受けて頂くことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。

[地域支援]

保育園や学校での様子をお伺いすることや、実際に様子を見学させていただくことがあります。また園や学校からの相談も受け付けており、できる限りの支援の提案や協力を行いよりよい療育を行います。

Q5:療育を実施する専門機関として、常にスキルアップしていくことが求められるかと思いますが、令和6年度中に受講された研修名・参加状況を教えてください。

強度行動障害の研修及び実習や、介護職員初任者研修などの資格を取得を行いました。また社内の職員全員を対象とした、外部の講師を呼んでの療育についての研修や虐待防止についての研修を行いました。

事業所名 子ども支援室みらい 嘉島教室



基本情報

住所	上益城郡嘉島町上六嘉 1382-2
電話番号	096-237-5888
FAX 番号	096-237-5888
ホームページ	https://miraipark.com

職種別従業者

管理者(職種)	大塚富美子 (児発管)
児童発達支援管理責任者 (資格)	大塚富美子 (教員免許)
保育所等訪問支援員 (資格)	
職員有資格 (■常勤 □非常勤)	
☒ 保育士 ■児童指導員 ☐ 医師 ☐ 看護師	
■心理士 ☐ 理学療法士 ☐ 作業療法士	
☐ 言語聴覚士 ☐ 社会福祉士 ☐ 精神保健福祉士	
■教員免許 ☒ 教員免許 ☒ 幼稚園教諭	
☐ その他 ()	

運営形態

家族同伴	
単独 (利用児のみ)	子どものみのグループ療育です。 相談は随時受け付けます
保育所等訪問支援事業	若葉教室にあり (併用可)

サービス内容

送迎の実施	児童発達支援 (有)無
	放課後等デイサービス (有)無
	備考:
利用定員	10名/日
利用時間	児発: 月、火、木、金 13時20分から15時まで
	放デイ(平日) 下校時間から17時30分まで
	放デイ(土曜)9時50分から11時30分まで
	放デイ(長期休暇)10時から16時まで
定休日	日曜日・年末年始

活動内容～1日の流れ～

時間	内容
13:20	みらいの送迎にて来所 検温、トイレ、手洗い、うがい
13:30	みらいタイム ・集中・注目、聞く力をつける ・基本的日常動作を身に着ける ・模倣する力をつける
14:10	ワーク・学習 ・手先を上手に動かす力をつける ・筆圧を強くする力をつける ・椅子に座って集中する練習をする。 ・「できました」という報告 ・「教えてください」という援助要請ができる力をつける ・ルールと手順の理解力をはぐくむ ・文字への興味、数の概念の理解
14:25	運動 ・姿勢の保持、運動への興味 ・ルールの理解、体幹の強化、
14:35	グループ活動 (みんなで遊ぼう) ・他児とのかかわり方を学ぶ ・ルールの理解 ・待つ力をつける ・他児への応援や祝福の気持ちを育てる
14:45	ほっとタイム ・好きな遊びを楽しむ ・他児とのかかわりとルールの理解
14:55	帰る準備 ・自分の荷物は自分で確認する力をつける ・挨拶をして帰る
15:00	送る ・安心安全に送る

Q&A

Q1:利用している子どもが取り組む活動の目的を具体的に教えてください

- ①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション
⑤人間関係・社会性

① 健康・生活

- ・手指、目のトレーニング・生活に必要な技能習得（みらいタイム）
- ・スケジュールの確認（みらいタイム）
- ・自席で集中（みらいタイム・学習・ワーク）
- ・創作活動、栽培、制作（余暇活動）

② 運動・感覚

- ・ジャンプ、体幹トレーニング（みらいタイム）
- ・姿勢の保持、リズム遊び（みらいタイム、グループ活動、運動）
- ・手指や目を使った課題への取り組み（ワーク）

③ 認知・行動

- ・聞くトレーニング、数量・大小・色などの習得（みらいタイム）
- ・感情のコントロール、応援する気持ち（グループ活動）
- ・手順書の確認（ワーク）
- ・報告、援助要請（学習、ワーク）

④ 言語・コミュニケーション

- ・あいうべ体操、舌の運動（みらいタイム）
- ・フラッシュカード、読み聞かせ（みらいタイム）
- ・連絡、相談、報告（ワーク、学習）
- ・ソーシャルスキルかるた、ワーキングメモリー、（学びタイム）
- ・他者とのかかわり（余暇活動）

⑤ 人間関係・社会性

- ・模倣、ルールを理解して取り組む（グループ活動、学びタイム）
- ・チームでの活動（グループ活動）
- ・自己選択、自己決定、自立活動（ワーク・学びタイム）
- ・自分の考え、他の人の考え、考え方の多様性を学ぶ（学びタイム）
- ・他者とのかかわり（余暇活動）
- ・SST こんなときどうする。（学びタイム）

Q2:就学や進学、また事業所の変更の際など何かしら支援をして頂けますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。(移行支援)

- ・移行支援シート作成
- ・就学先、進学希望先の見学同行
- ・就学、進学先の関係機関との連携会議をする。

Q3:家族が安心して子育てを行う取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会がありますか？具体的に教えてください。(家族支援)

- ・子育て学習会
- ・面談（個別支援作成の見直し時期に合わせて年2回）
- ・随時相談援助

Q4:利用している子どもが地域で安心して生活できるよう、園や学校からの相談等を受けて頂くことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。

[地域支援]

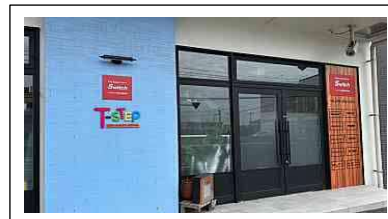
- ・可能です。(教室の見学可 相談があれば出向いて会議も可)
- ・ご利用児の関係機関との連絡会議
- ・モニタリング時に園や学校の先生も一緒に情報の共有

Q5:療育を実施する専門機関として、常にスキルアップしていくことが求められるかと思いますが、令和5年度中に受講された研修名・参加状況を教えてください。

- ・OJT 研修
- ・療育センター実施のスキルアップ研修
- ・上益城圏域の全員研修
- ・社内研修

児童発達支援事業

事業所名 Switch 嘉島 with T-STEP



基本情報

住所	熊本県上益城郡嘉島町上島 2077-7 1F
電話番号	096-285-5615
FAX 番号	096-285-5619
ホームページ	

職種別従業者

管理者(職種)	矢野滉平(理学療法士)
児童発達支援管理責任者(資格)	石橋礼(介護福祉士)
保育所等訪問支援員(資格)	矢野滉平(理学療法士)
	志賀麻衣子(保育士)
職員有資格 (■常勤 ☒ 非常勤)	
■保育士 ■児童指導員 ☐ 医師 ☐ 看護師 ☐ 心理士 ■理学療法士 ☐ 作業療法士 ☐ 言語聴覚士 ☐ 社会福祉士 ☐ 精神保健福祉士 ☐ 教員免許 ■幼稚園教諭 ☐ その他 ()	

運営形態

家族同伴	親子療育実施
単独 (利用児のみ)	AM//PM 単独利用実施
保育所等訪問支援事業	実施

サービス内容

送迎の実施	児童発達支援 ☒ 有 / 無
	放課後等デイサービス ☒ 有 / ☐ 無
	備考:
利用定員	10名/日
利用時間	AM: 9:00~11:00 PM: 13:30~15:30
定休日	土日祝日・GW・お盆・年末年始

活動内容～1日の流れ～

時間

内容

9:30
(14:00)

順次来所
お荷物片づけ
自由遊び

9:50
(14:20)

お集まり

(14:30)
10:00

活動スタート

※一週間ごとに活動が変わります

【活動内容】

- ・運動あそび (室内・お外) ・感覚あそび
- ・製作 ・机上課題 ・季節の行事体験
- ・自然散策 ・町探検
- ・ビジョントレーニング
- ・ソーシャルスキルトレーニング

【活動のねらい】

- ・手先の操作性 ・身体の使い方
- ・ルールの理解 (遊び・交通・公共の場 等)
- ・お友達との関わり ・自己選択
- ・自己理解、他者理解 ・表出練習
- ・身辺トレーニング (排泄・着替え)



10:45
(15:15)

お帰りの会

11:00
(15:30)

送迎・保護者迎え

Q & A switch 嘉島

Q1:利用している子どもが取り組む活動の目的を具体的に教えてください

- ①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション
⑤人間関係・社会性

- ① 基本的生活のスキルの獲得(排泄・清潔・着脱・準備・片付けなど)
- ② 運動の基本的技能の向上と活用(歩く・走る・跳ぶ・くぐる・バランス・遊具の使用・協調動作など)
- ③ 認知の発達と行動の習得や空間、時間、数の概念形成の習得(視覚や聴覚、触覚などから情報を収集し行動へ繋げる、色、形、大きさ、数の理解など)
- ④ 物事と言葉の一致・コミュニケーション能力の獲得(具体物や体験と言葉や意味の一致、指差し・身振り・サイン・絵カード等の活用など)
- ⑤ 集団参加の支援・自己理解、コントロール・他者理解・遊びの共有(ルールのある集団遊び・他者との関わり方・気持ちの発散、クールダウンの方法など)

Q2:就学や進学、また事業所の変更の際など何かしら支援をして頂けますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。(移行支援)

移行支援シートの作成や就学先への見学同行や情報共有のための会議の開催など、保護者様からのニーズに合わせて対応をさせて頂いております。お子様が安心して次の環境へ進むことができるようにサポートさせていただきます

Q3:家族が安心して子育てを行う取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会がありますか？具体的に教えてください。(家族支援)

午後は親子療育での受け入れをさせて頂いております。その中でお子様のようすの振り返りや伝え方・関わり方などをお伝えしながら解決にむけてサポートさせて頂いております。また年に2回親子イベントを開催しており、お子様だけでなく保護者様が交流・意見交換を行うことができるような場所の提供を行っております。

Q4:利用している子どもが地域で安心して生活できるよう、園や学校からの相談等を受けて頂くことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。

[地域支援]

保育所等訪問支援を実施しており、保護者様・所属園・学校の先生からのご相談をお受けし、解決に向けてお子様のようすに合わせた支援方法や環境設定について一緒に考えご提案をさせて頂いております。また同法人にて行っている学習塾や体操教室などにご興味を持たれている方にはご案内をさせていただき社会参加の一步となれればと思っています。ご利用させて頂いている児童様に関しては、塾スタッフや体操教室スタッフより様子を聞き、必要な時にはSwitchのスタッフが見学へ行きフォローを行うなどこまめに情報共有を行っています

Q5:療育を実施する専門機関として、常にスキルアップしていくことが求められるかと思いますが、令和5年度中に受講された研修名・参加状況を教えてください。

地域療育センターでのSST研修や3年目以上スタッフ研修などに参加しています。

その他、外部で強度行動障害研修・オンラインでの研修(各障害についての研修、感覚統合・関わり方など)・スヌーズレン研修などを受講しスキルアップに努めています。

今年度は発達障害理学療法士の資格を持つ先生に来ていただき、運動機能面でのアプローチ方法や環境設定の仕方などの勉強会の実施を予定しております。

児童発達支援事業

事業所名 子ども支援室みらい 益城教室



基本情報

住所	上益城郡益城町大字古閑7-4
電話番号	096-200-7089
FAX 番号	上記に同じ
ホームページ	http://miraipark.com/

職種別従業者

管理者(職種)	野崎 航介
児童発達支援管理責任者(資格)	野崎 航介
保育所等訪問支援員(資格)	
職員有資格 (■常勤 □非常勤)	
☐ 保育士 ■児童指導員 ☐ 医師 ☐ 看護師 ☒ 心理士 ☐ 理学療法士 ☐ 作業療法士 ☐ 言語聴覚士 ☐ 社会福祉士 ☐ 精神保健福祉士 ☒ 教員免許 ☐ 幼稚園教諭 ☒ その他 (認定心理士)	

運営形態

家族同伴	
単独 (利用児のみ)	
保育所等訪問支援事業	

サービス内容

送迎の実施	児童発達支援 有
	放課後等デイサービス 有
	備考:
利用定員	10名/日
利用時間	児発 平日 13:30~14:30 長期休暇 10:00~11:00
定休日	日曜・お盆・年末年始・第1・3土曜日

活動内容~1日の流れ~

時間	内容
(平日・児発)	
13:00	送迎
13:30	みらいタイム
14:00	学習
14:20	ほっとタイム(自由時間)
14:30	終了・送迎
(長期休暇・児発)	
10:00	集合・プログラム開始
10:05	みらいタイム
10:25	学習
10:55	ほっとタイム
11:00	終了・送迎

Q & A

Q1:利用している子どもが取り組む活動の目的を具体的に教えてください

- ①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション
- ⑤人間関係・社会性

- ① 生活していく上でのルールの確立 ②姿勢保持や体幹を整えるためのトレーニング
- ③ 感覚過敏や外部刺激に配慮した場の構造化の中で発達レベルに応じた学習
- ④ 多様なコミュニケーション手段を活用し、相手と自分とが表出することへの理解
- ⑤ 集団生活においてルールに合わせた行動等、社会生活における適応能力を養う。

Q2:就学や進学、また事業所の変更の際など何かしら支援をして頂けますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。(移行支援)

- ・ 同法人の別事業への移行
- ・ 相談支援事業所を通じて、地域の社会資源の活用 の提案

Q3:家族が安心して子育てを行う取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会がありますか？具体的に教えてください。(家族支援)

- ・ 年に 3 回子育て学習会の開催をしている。
- ・ 親子レクリエーションを夏季と冬季に開催し、保護者同士の関わりを図る機会を設定。
- ・ 家族支援として、個別で居宅訪問やオンラインを通して継続した支援

Q4:利用している子どもが地域で安心して生活できるよう、園や学校からの相談等を受けて頂くことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。

[地域支援]

具体的に、保護者の要望に応じて事業所で取り組んでいる活動内容や本人の特性に関しての情報提供を行う。

Q5:療育を実施する専門機関として、常にスキルアップしていくことが求められるかと思いますが、令和 5 年度中に受講された研修名・参加状況を教えてください。

- ・ 上益城郡内全体向けの療育研修

児童発達支援事業

事業所名 障害児通所支援事業所あすでい



基本情報

住所	上益城郡益城町広崎 1147-1
電話番号	096-285-6760
FAX 番号	096-285-6763
ホームページ	https://www.big-advance.site/s/156/1514

職種別従業者

管理者(職種)	橋口 美代子
児童発達支援管理責任者(資格)	橋口 美代子
保育所等訪問支援員(資格)	
職員有資格 (■常勤 □非常勤)	
■保育士 ■児童指導員 □医師 □看護師	
□心理士 □理学療法士 □作業療法士	
□言語聴覚士 □社会福祉士 □精神保健福祉士	
□教員免許 ■幼稚園教諭	
□その他 ()	

運営形態

家族同伴	なし
単独 (利用児のみ)	○
保育所等訪問支援事業	なし

サービス内容

送迎の実施	児童発達支援 (有)無
	放課後等デイサービス (有)無
	備考:
利用定員	10 名/日 (児発・放デイ 通じて 10 名)
利用時間	児発 9:30~12:00
	放デイ(平日) 14:30~17:00
	放デイ(土曜) 10:00~15:00
	放デイ(長期休暇) 10:00~15:00
定休日	日、月・お盆・年末年始

活動内容～1日の流れ～

時間	内容
9:30	順次来所
9:30～	それぞれのスケジュールに従って自立した活動をする (スケジュールの内容・・・プレイ、ワーク、カーン、ブック、タブレット、先生と勉強など)
11:30～ 12:00	帰宅

【具体的支援】

- ① TEACCH の考えに基づいた構造化を利用した自立支援
- ② ソーシャルストーリーやコミック会話の手法を用いた支援
- ③ PECS の考えに基づいた絵カードを用いたコミュニケーション支援

Q & A

Q1:利用している子どもが取り組む活動の目的を具体的に教えてください

- ①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション
⑤人間関係・社会性

下記5領域に関して、本人の特異性を評価しながら、TEACCHの構造化・PECS・ソーシャルストーリー・コミック会話等を利用して、支援を実施している。

① 健康・生活

- ・スケジュール活動を通して、生活のリズムや生活習慣の形成
- ・基本的生活スキルの獲得、食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要なスキルの獲得

② 運動・感覚

- ・視覚優位／感覚の過敏性の特異性を活かした支援

③ 認知・行動

- ・感覚の特異性を活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す

④ 言語・コミュニケーション

- ・受容言語と表出言語の獲得

⑤ 人間性・社会性

- ・自己の理解とコントロール
- ・自分の行動の特徴を理解するとともに、自分の気持ちや情動を知る

Q2:就学や進学、また事業所の変更の際など何かしら支援をして頂けますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。(移行支援)

移行先の保育所・小中高校等への支援と支援体制の構築のため、援助方針や支援内容等の共有、支援方法の伝達のミーティングを実施しています。

Q3:家族が安心して子育てを行う取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会がありますか？具体的に教えてください。(家族支援)

- ・子どもの発達上の課題についての気づきの促しとその後の支援
- ・相談支援専門員との定期的な支援会議や支援計画の調整
- ・子どもに関する情報の提供と定期的な支援調整等

Q4:利用している子どもが地域で安心して生活できるよう、園や学校からの相談等を受けて頂くことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。

[地域支援]

園や学校からの相談等受けています。

これまでの取り組み・・・ASD の特性についての職員研修、学校行事の参加に対しての対策・方法の提供、学校でのクールダウンのための対策・方法の提供

Q5:療育を実施する専門機関として、常にスキルアップしていくことが求められるかと思いますが、令和5年度中に受講された研修名・参加状況を教えてください。

- ・あすでい勉強会 ～構造化～(令和5年4月21日)／職員全員
- ・あすでい勉強会 ～学習スタイル～(令和5年6月16日)／職員全員
- ・ソーシャルストーリークラブ勉強会(令和5年6月25日)／児発管
- ・あすでい勉強会 ～ASDのコミュニケーション～(令和5年9月15日)／職員全員
- ・障がい者 虐待防止のためのオープンセミナー(令和5年9月25日)／児発管
- ・ソーシャルストーリークラブ勉強会(令和5年10月22日)／児発管
- ・あすでい勉強会 ～自閉症スペクトラムの理解と支援～(令和5年11月17日)／職員全員
- ・TEACCH 研修会(令和5年12月3日)
- ・ソーシャルストーリークラブ勉強会(令和5年12月10日)／児発管
- ・令和5年度 熊本県サービス管理責任者、児童発達支援管理責任者及び相談支援従事者 専門コース別研修【意思決定支援(応用編)】(令和6年1月31日)／児発管
- ・あすでい勉強会 ～ASDの学習スタイル～(令和6年2月16日)／職員全員
- ・ソーシャルストーリークラブ勉強会(令和6年2月25日)／児発管
- ・令和5年度 熊本県サービス管理責任者、児童発達支援管理責任者及び相談支援従事者 専門コース別研修【障害児支援(応用編)】(令和6年2月29日、3月1日)／児発管
- ・令和5年度 熊本県発達障がい医療センター主催 発達障がい医療に関する研修会(令和6年3月12日)／児発管

児童発達支援事業

事業所名 児童発達支援 わいわいなかま益城教室



基本情報

住所	熊本県上益城郡益城町安永 440 - 3
電話番号	096-285-5933
FAX 番号	096-285-5933
ホームページ	https://dekoboko-npo.com/

職種別従業者

管理者(職種)	川口 純子 (保育士)
児童発達支援管理責任者 (資格)	川口 純子 (保育士)
保育所等訪問支援員 (資格)	江口 真美子 (保育士)
職員有資格 (■常勤 ☒ 非常勤)	
■保育士 ■児童指導員 ☒ 医師 ☐ 看護師	
☐ 心理士 ☐ 理学療法士 ☐ 作業療法士	
☐ 言語聴覚士 ☐ 社会福祉士 ☐ 精神保健福祉士	
☐ 教員免許 ■幼稚園教諭	
☐ その他 ()	

運営形態

家族同伴	木曜日 (年少、年長) 金曜日 (年中)
単独 (利用児のみ)	月 (年長)、火 (年中)、水 (年少)
保育所等訪問支援事業	あり

サービス内容

送迎の実施	児童発達支援 ☒ 無
	放課後等デイサービス ☒ 無
	備考:
利用定員	4 名/日
利用時間	児発 単独 10 時～11 時 親子 10 時～12 時
	放デイ(平日) 13: 00～17: 00
	放デイ(土曜) 10: 00～15: 30
	放デイ(長期休暇) 10: 00～16: 00
定休日	日祝日・お盆・年末年始

活動内容～1 日の流れ～

時間

内容

【午前の部】

10:00 順次登園 荷物片付け
サーキット

10:15 お集まり

活動 1 机上課題

- ・あそびを楽しむ中で手の巧緻性を養い、手元を見る力、モデルを見る力、工程理解の力をつける
- ・困ったときに発信する力をつける (シール貼り、形マッチング、製作、粉あそび、折り紙、ちぎり絵等)

活動 2 運動あそび

- ・運動課題を通して成功体験を積む
- ・体を動かしながらルールを守り楽しく遊ぶ経験を重ねる
- ・ボディーイメージの向上 (サーキット、リズム、砂遊び、散歩)

11:00 (単独療育 降園)

11:15 お弁当/食事
スプーンの正しい握り方
お箸への移行
偏食への助言

12:00 降園

【午後の部】

14:00 順次登園 荷物片付け
サーキット

14:15 お集まり

活動 1 季節の活動

活動 2 運動あそび

(午前中の活動に準ずる)

15:30 降園



Q & A 児童発達支援

Q1:利用している子どもが取り組む活動の目的を具体的に教えてください

- ①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション
⑤人間関係・社会性

①健康・生活

- ・生活リズムの確立
- ・メディアの使用について
- ・食事…正しい道具（スプーン、箸）の持ち方、偏食への助言
- ・着脱…服の脱ぎ方、着方、たたみ方の習得
- ・トイレトレーニング
- ・保清…歯磨き、体洗い、洗髪、体拭き

②運動・感覚

- ・運動課題を通して成功体験を積む
- ・重力に負けないからだづくり（体幹を鍛える、踏ん張る力、支える力）
- ・2つ以上の部位と一緒に動かす運動の促進（目と手、目と足、手と足）
- ・苦手な感覚を理解し防ぐことと、活かすこと

③認知・行動

- ・見る力、モデルを見る力、工程理解からの成功体験
- ・見通しを持って活動する力、識別する力、模倣する力
- ・気持ちの切り替え
- ・感情コントロール
- ・気持ちの持続

④言語・コミュニケーション

- ・言葉の土台を育む（アイコンタクト、共感、指差し、共同注視）
- ・聞いて発信する力
- ・やりとりを育む（「かして」「どうぞ」「もう1回」「下さい」）
- ・語彙数、表現力の向上

⑤人間関係・社会性

- ・保護者との愛着形成を育み安定した生活ができる
- ・譲らない態度も大切
- ・褒める
- ・スケジュールに沿って活動ができる。ルールに沿って活動する。

- ・段階的成長（場の共有、一緒に遊びをする、一緒に物を作る、協力して遊ぶ）

Q2:就学や進学、また事業所の変更の際など何かしら支援をして頂けますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。（移行支援）

- ・就学予定の小学校の見学を計画し、地域の学校であれば、1年生クラス、支援クラスの授業の様子を見学し、担当の先生と情報交換の時間を頂いている。支援学校にも見学に行く。
- ・サポートブックの作成。
- ・就学後、希望される方については、担任の先生に情報提供で訪問したり、情報提供書をお渡ししている。

Q3:家族が安心して子育てを行う取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会がありますか？具体的に教えてください。（家族支援）

- ・相談は常に受け付けています。
- ・保護者同伴療育では、記録用紙に当日のプログラムで保護者さんにやって欲しいこととその意味について記載しています。
- ・プログラム開始前の説明と終了後の振り返りを行い、療育内容を家庭でどう活かすかについて、また家庭での接し方について助言をしています。

Q4:利用している子どもが地域で安心して生活できるよう、園や学校からの相談等を受けて頂くことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。

[地域支援]

- ・保護者さんからの相談、園や学校からの相談を受けて、園や学校を訪問し、先生方とお話しした結果を保護者さんにお伝えしています。家庭や園、学校で少しでも過ごしやすい状態になるように支援しています。

Q5:療育を実施する専門機関として、常にスキルアップしていくことが求められるかと思いますが、令和5年度中に受講された研修名・参加状況を教えてください。

- ・「SSTについて」 ソーシャルワーカー 土屋 徹 氏 1名参加
- ・ケース検討2回 「3年男子 暴力暴言で表現する子どもの理解と対応について」
1名参加
- ・「新版K式発達検査について」 宮本 佐和子 1名参加
- ・「年中男子の運動評価」 中村 OT 1名参加
- ・「障害者虐待～障害のある人もない人も共に生きる社会のために～」 1名参加

児童発達支援事業

事業所名：児童発達支援多機能型事業所エルサ山都教室



基本情報

住所	上益城郡山都町小峰 7 5 9 - 1
電話番号	0967-72-9377
FAX 番号	0967-72-9377
ホームページ	https://www.kitchenbless.biz/

職種別従業者

管理者(職種)	藤澤瑞恵
児童発達支援管理責任者 (資格)	藤澤瑞恵
保育所等訪問支援員 (資格)	徳永恭子 (児童指導員)
職員有資格 (■常勤 ☒ 非常勤)	
■保育士 ■児童指導員 □医師 □看護師 □心理士 □理学療法士 □作業療法士 □言語聴覚士 ■社会福祉士 □精神保健福祉士 □教員免許 □幼稚園教諭 ■その他 (介護福祉士など)	

運営形態

家族同伴	なし
単独 (利用児のみ)	あり
保育所等訪問支援事業	あり

サービス内容

送迎の実施	児童発達支援 有
	放課後等デイサービス 有
	備考：
利用定員	15 名／日 (児発・放デイ合わせて)
利用時間	児発 10：00～13：00
	放デイ(平日) 14：00～17：00
	放デイ(土曜) なし
	放デイ(長期休暇) 10：00～17：00
定休日	土日・年末年始

活動内容～1日の流れ～

時間	内容
	【児童発達支援】
10：00	来所 手洗い・荷物整理 お集まり 集団自由遊び 個別指導 グループ活動 昼食・歯磨き 集団自由遊び 退所
13：00	【放課後等デイサービス 学校日】 下校時間に合わせて迎え
14：00	来所 手洗い・荷物整理 余暇活動 個別指導 / 自立活動 余暇活動 グループ活動
17：00	退所
10：00	【放課後等デイサービス 休校日】 来所 手洗い・荷物整理 学習 余暇活動 個別指導 / 自立活動 余暇活動
12：00	昼食・歯磨き 余暇活動 グループ活動 余暇活動 掃除 余暇活動
17：00	退所

Q&A

Q1:利用している子どもが取り組む活動の目的を具体的に教えてください

- ①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション
⑤人間関係・社会性

- ① 食事、衣類の着脱、排泄などの生活に必要なスキルを身に付ける。
スケジュールに沿って活動し、いろいろな活動の経験をする。
自由時間では自分で活動を選択・決定し取り組み、自己決定をしていく経験を積む。
- ② 感覚統合を目的とした運動遊びを行い、身体の調整をする。
- ③ ビジョントレーニング、SST、集団行動、人との関りなどを通して、社会のルールやマナーを学び、社会性を身に付ける。
- ④ 言語やカード、ジェスチャーなどのコミュニケーション手段を活用し、自分の意思を他者に伝え、また、他者の意思を理解し、相互に理解をする。
- ⑤ 集った利用者、職員と共に生活・活動する（社会参加）の中で、自分の役割を果たすことで社会の一員であることを実感し、豊かな人生を送る。

Q2:就学や進学、また事業所の変更の際など何かしら支援をして頂けますか？もし実施されている場合、具体的に教えてください。（移行支援）

- ・情報提供書作成・提出
- ・移行支援会議への参加

Q3:家族が安心して子育てを行う取り組みとして、家族が学ぶ機会や相談する機会がありますか？具体的に教えてください。（家族支援）

- ・随時相談を受けている。
- ・毎月配布する書面に相談申し込みの欄を設け、相談の申し出がよりしやすくなるようにしている。
- ・保護者参加型のイベントをし、保護者同士で一緒に考えたり学ぶ時間を作っている。

Q4:利用している子どもが地域で安心して生活できるよう、園や学校からの相談等を受けて頂くことは可能ですか？これまでの取り組み例があれば教えてください。

[地域支援]

- ・保育所等訪問支援で関係機関からの相談等を受けている。
- ・連携会議の開催依頼をしたり、会議の申し出があったときは参加し、相談等を受けている。

Q5:療育を実施する専門機関として、常にスキルアップしていくことが求められるかと思いますが、令和5年度中に受講された研修名・参加状況を教えてください。

- ・ソーシャルスキルトレーニング研修
- ・不登校・引きこもり理解のための支援者研修
- ・ビジョントレーニング研修
- ・ABA 研修

- ・意思決定支援研修
- ・すらら研修
- ・虐待防止研修
- ・強度行動障害支援者研修